

# GPS 受信機 SPSx50 操作 Guide

株式会社 ニコン・トリムブル

2009 年 4 月版

## はじめに

本書は GPS 受信機 SPSx50 パネルの基本的動作と移動局設定について紹介しています。  
各コマンドに関する説明は、本製品のマニュアル等でご確認ください。  
本書は GPS 受信機 SPS751 をベースに記述しています。

## - 目次 -

はじめに	1
1. 基本操作	2
ボタンの機能	2
本機のメニュー構成とボタン操作	3
Operation Mode の切り替え	4
項目の切り替えと設定方法	4
2. Operation Mode の機能・設定	6
Base: 基準局の設定をする	6
Rover: 移動局の設定をする	8
System Setup: システムの設定をする	9
SV Status: 衛星情報を閲覧する	10
3. 機器接続について	11
本機背面の各ポートの名称と機能	11
4. ブラウザを利用した操作方法	12
本機と PC を接続するには	12
ブラウザメニューの機能	12
付 録	25

1. 基本操作

ボタンの機能



(上図：HOME表示)

部位	キー名	機能
A	電源ボタン	<p>電源入/切を行います。 電源を切るには電源ボタンを2秒間押し続けます。 さらに押し続けることにより以下の動作をします。 電源を切る(ボタンを2秒押し) パネルにタイマーが表示されます。パネルが空白になったら電源ボタンを離します。 衛星暦、軌道暦、SV情報を消去する(ボタンを15秒押し) パネルにタイマーが表示されます。パネルが空白になってもさらに押し続けると、衛星暦、軌道暦を消去するまでの残り時間が表示されます。残り時間が“0”になったら電源ボタンを離します。 受信機の設定を初期化し、デフォルトアプリケーションファイルにリセットする(ボタンを35秒押し) 上記“衛星暦、軌道暦、SV情報を消去する”で残り時間が“0”になってもさらに押し続けると、受信機をリセットするまでの残り時間が表示されます。 “0”になったらボタンを離します。 強制終了する(ボタンを60秒以上押し) 上記の方法が無効の場合、強制終了して電源を切ります。 電源LEDが消えたらボタンを離します。</p>
B	ESCキー	項目を一つ前に戻します
C	Enterキー	設定を確定し、次のメニュー項目に切り替えます 設定を開始する場合、はじめにこのボタンを押します
D	上下キー	表示内容・設定を切り替えます 英数字入力ボタンの機能を兼ねています
E	左右キー	メニューや項目を変更する場合に押します 項目が選択されると、そのメニューや項目が点滅します 英数字入力の際のカーソル移動ボタンを兼ねています

本機のメニュー構成とボタン操作

設定一覧

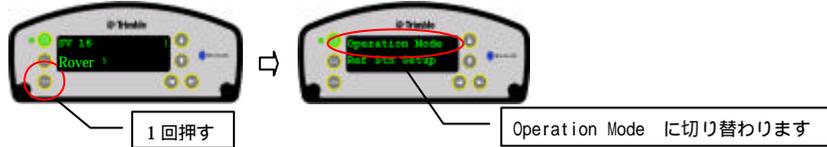
メニュー項目 (Operation Mode)	項目	項目	項目	(項目内容)
Mode Setting	Base	Edit Current/ New Base(Here)	Base Name	基準局名設定
			Base Code	基準局コードの設定
			Base Latitude	緯度設定
			Base Longitude	経度設定
			Point Hight	高度(楕円体高)設定
			Antenna Type	アンテナ種類選択
			Measured to Antenna Height	アンテナ高さ計測位置選択 アンテナ高設定
			Port/Format	出力ポートとフォーマット選択
			NMEA/Port GSOF/Port	NMEA種類と出力レート設定 種類と出力先・出力レート設定
	Rover	Elev Mask		仰角設定
		Mode		RTK動作モード切り替え
		Antenna Type NMEA/Port		アンテナ設定 NMEA種類と出力先・出力レート設定
		GSOF/Port		GSOF種類と出力先・出力レート設定
	Heading Moving Base			移動体の方向を特定する場合に利用 1 移動体の方向を特定する場合に利用 1
System Setup	Language			表示言語選択
(本体の設定)	Units			単位選択
	Precision Setup			Lemo/Modemポートの通信条件設定
	Lemo/Modem Screen Pwr Saver			Lemo/Modemポートの通信条件設定 メイン表示スクリーンセーバー切替
	Autobase Warning			オートベース警告の切替
SV Status	---	---	---	受信衛星の状態表示
(衛星情報閲覧)				

(表1)

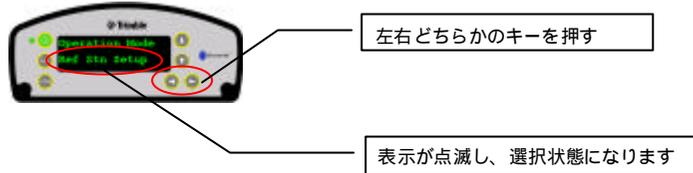
1: Heading, MovingBase 設定は GPS 受信機 2 機 1 組をセットアップする必要があります。

**Operation Mode の切り替え**

1. HOME 表示の状態、Enter キーを 1 回押すと「Operation Mode」表示になります。



2. 左右どちらかのキーを押してモード選択状態にします。(表示が点滅します)



3. 上下どちらかのキーを押して、目的のモードを表示します。



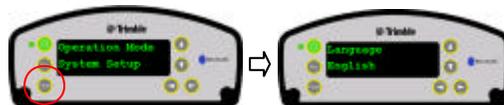
Operation Mode の表示順は、上記 (表 1) の順です。

4. Enter キーを押してモードを決定します。(点滅から点灯表示に切り替わります)

Esc キーを押すと、Operation Mode のはじめの表示に戻ります。

**項目の切り替えと設定方法**

1. Operation Mode で選択した表示の状態、Enter キーを押すとそのモードの項目表示に切り替わります。



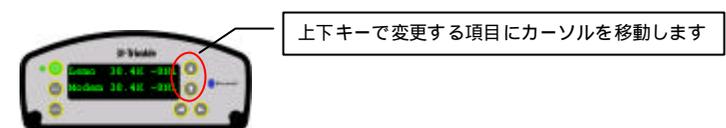
2. 項目の切り替えは、Enter キーを押す毎に (表 1) の順に切り替わります。



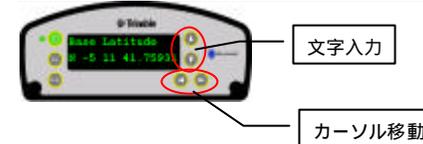
3. 各項目の設定を変更するには、左右どちらかのキーを押した後、上下キーで切り替えます。Enter キーで変更を決定します。



項目が 2 行表示される場合など複数の設定項目がある場合、上下キーで目的の位置にカーソルを移動し、左右キーで変更状態にします。



文字入力などの場合、左右キーでカーソルを移動し、上下キーで文字を選択します。



Enter キーを押して設定を決定します。

Esc キーを押すと前の表示に戻ります。

**2. Operation Mode の機能・設定****Base: 基準局の設定をする**

- Home 表示の状態 で Enter キーを押して、Operation Mode 表示にします。  
2 行目に、Mode Setting が表示されます。
- もう一度 Enter キーを押します。  
2 行目に次のいずれかが表示されます。  
Rover, Base, Headin, Moving Base
- 左右どちらからのボタンを押します。2 行目の表示が点滅します。
- 上下どちらかのボタンを押して、Base を表示させ Enter を 2 回押します。  
2 行目に Edit Current が表示されます。

**基準局の設定方法を選択する**

- 左右どちらかのボタンを押した後、上下どちらかのボタンを押して、基準局編集か、新規基準局の設定を選択します。  
Edit Current : 既存の基準局を編集します。  
New Base(Here) : 新規の基準局を設定します。
- Enter を押して、決定後、再度 Enter を押して次に進みます。  
1 行目が Base Name 表示に切り替わります。

**基準局名と基準局コードを編集・設定する**

- 右ボタンを押して最初の文字が点滅します。  
左右ボタンでカーソルを移動させ、上下ボタンを使って文字を変更・設定します。  
Enter を押して名称を決定します。さらに Enter を押して次に進みます。  
Base Code 表示に切り替わります。
- 名称の変更・設定同様に操作して Base Code (基準局コード) を設定します。  
Enter を押して決定し、さらに Enter を押して次に進みます。  
Base Latitude 表示に切り替わります。

**基準局緯度・経度・高度を設定する**

- “ New Base(Here) ” を設定した場合、現在位置を表示します。  
必要に応じて、右ボタンを押して表示を点滅させ、左右ボタンで入力位置までカーソルを移動し、上下ボタンで値を設定します。  
Enter キーを押して値を決定します。さらに Enter を押して次に進みます。  
Base Longitude 表示に切り替わります。
  - 基準局経度を設定します。  
緯度の設定同様にして値を編集・設定します。  
Enter を押して次に進みます。  
Point Height 表示に切り替わります。
  - 基準局高度を設定します。  
緯度の設定同様にして値を編集・設定します。  
Enter を押して次に進みます。  
Antenna Type 表示に切り替わります。
- アンテナモデルと計測方法・高さを設定する**
- 右ボタンを押した後、上下ボタンを押して、使用するアンテナモデルを表示し Enter を押します。さらに Enter を押して次に進みます。  
Measured To 表示に切り替わります。
  - アンテナ計測方法を設定します。  
右ボタンを押した後、上下ボタンを押して、計測方法を表示し Enter を押します。さらに Enter を押して次に進みます。  
Antenna Height 表示に切り替わります。

- アンテナ高さを設定します。  
右ボタンを押して表示を点滅させ、左右ボタンで入力位置までカーソルを移動し、上下ボタンで値を設定します。  
Enter を押して値を決定します。さらに Enter を押して次に進みます。  
Port 表示に切り替わります。  
補正データの出力ポートとフォーマットを設定する
  - ここでは 1 行目に出力ポートの設定、2 行目にフォーマットの設定をします。  
上下ボタンでカーソルを移動し、設定する項目に移動します。  
ポートの設定：  
カーソルが 1 行目にあることを確認して右ボタンを押し、上下ボタンで出力ポートを選択します。Enter を押して決定します。  
フォーマットの設定：  
カーソルが 2 行目の行にあることを確認して右ボタンを押し、上下ボタンでフォーマットを選択します。Enter を押して決定します。  
さらに Enter を押して次に進みます。  
NMEA 表示に切り替わります。
- NEMA 出力についての設定をする**
- NMEA の種類・出力ポート・出力レートの設定をします。  
NMEA 種類の設定：  
1 行目にカーソルがあることを確認して、右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンで目的の NMEA に切り替え、Enter を押します。(表示が点灯します)  
出力ポートの設定：  
下ボタンを押しカーソルを 2 行目真ん中の表示位置に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力ポートを選択し、Enter を押します。  
? 出力ポート種類は、「3 機器接続について」の章を参照してください。(P11 参照)  
出力レートの設定：  
下ボタンを押して 2 行目右端表示に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力レートを選択し、Enter を押します。  
さらに Enter を押して次に進みます。  
GSOF 表示に切り替わります。
- GSOF 出力を設定する**
- GSOF の種類・出力ポート・出力レートの設定をします。  
GSOF 種類の設定：  
1 行目にカーソルがあることを確認して、右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンで目的の GSOF を表示し、Enter を押します。(表示が点灯します)  
出力ポートの設定：  
下ボタンを押しカーソルを 2 行目真ん中の表示位置に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力ポートを選択し、Enter を押します。  
? 出力ポート種類は、「3 機器接続について」の章を参照してください。(P11 参照)  
出力レートの設定：  
下ボタンを押して 2 行目右端表示に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力レートを選択し、Enter を押します。  
さらに Enter を押して次に進みます。
- 基準局設定を完了し、Home 表示に戻ります。

**Rover:移動局の設定をする**

- Home 表示の状態 で Enter キーを押して、Operation Mode 表示にします。  
2 行目に、Mode Setting が表示されます。
  - もう一度 Enter キーを押します。  
2 行目に次のいずれかが表示されます。  
Rover, Base, Headin, Moving Base
  - 左右どちらからのボタンを押します。2 行目の表示が点滅します。
  - 上下どちらかのボタンを押して、Rover を表示させ Enter を 2 回押します。  
1 行目に Elev Mask が表示されます。
- 仰角マスクの設定をする
- 1 行目にカーソルがあることを確認して、左右どちらかのボタンを押します。  
カーソル位置が点滅します。  
上下どちらかのボタンを押して、仰角値を設定します。  
左右ボタンを押して各桁に値を設定します。  
Enter を押します。(設定値が点灯します)

**RTK 動作モードを設定する**

- 下ボタンを押して、カーソルを 2 行目に移動します。
- 上下どちらかのボタンを押して、動作モードを切り替えます。  
RTK Sync : 同期化モード (遅延はあるものの、最大更新頻度 5Hz で高精度データを取得)  
Low Latency : 低遅延モード (精度はやや落ちるものの 20Hz 以下の頻度で遅延が少ない)
- Enter を 2 回押して次に進みます。  
Antenna Type 表示に切り替わります。

**アンテナモデルを設定する**

- アンテナ種類を設定します。  
左右ボタンを押して 2 行目を点滅させます。
- 上下ボタンを押して使用するアンテナタイプに切り替えます。
- Enter を押します。(項目が点灯します)  
さらに Enter を押して次に進みます。  
NMEA 表示に切り替わります。

**NEMA 出力についての設定をする**

- NMEA の種類・出力ポート・出力レートの設定をします。  
NMEA 種類の設定 :  
1 行目にカーソルがあることを確認して、右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンで目的の NMEA を表示し、Enter を押します。(表示が点灯します)  
出力ポートの設定 :  
下ボタンを押してカーソルを 2 行目真ん中の表示位置に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力ポートを選択し、Enter を押します。  
? 出力ポート種類は、「3 機器接続について」の章を参照してください。(P11 参照)  
出力レートの設定 :  
下ボタンを押して 2 行目右端表示に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力レートを選択し、Enter を押します。  
さらに Enter を押して次に進みます。  
GSOFF 表示に切り替わります。

**GSOFF 出力を設定する**

- GSOFF の種類・出力ポート・出力レートの設定をします。  
GSOFF 種類の設定 :  
1 行目にカーソルがあることを確認して、右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンで目的の GSOFF を表示し、Enter を押します。(表示が点灯します)  
出力ポートの設定 :  
下ボタンを押してカーソルを 2 行目真ん中の表示位置に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力ポートを選択し、Enter を押します。  
? 出力ポート種類は、「3 機器接続について」の章を参照してください。(P11 参照)  
出力レートの設定 :  
下ボタンを押して 2 行目右端表示に切り替えます。  
左右ボタンを押して表示を点滅させます。  
上下ボタンを押して出力レートを選択し、Enter を押します。  
さらに Enter を押して次に進みます。  
移動局設定を完了し、Home 表示に戻ります。

**System Setup:システムの設定をする**

- Home 表示の状態 で Enter キーを押して、Operation Mode 表示にします。  
2 行目に、Mode Setting が表示されます。
- 右ボタンを押して表示を点滅させ、下ボタンを 1 回押して System Setup を表示し Enter を押します。さらに Enter を押します。  
Language 表示に切り替わります。
- 左右ボタンを押した後、上下ボタンで表示言語を選択し Enter を押します。  
さらに Enter を押します。  
Units 表示に切り替わります。
- 左右ボタンを押した後、上下ボタンで表示単位を選択し Enter を押します。  
さらに Enter を押します。  
Precision Setup 表示に切り替わります。
- 左右ボタンを押して、H 欄にカーソルがあることを確認して水平精度を設定します。  
Enter を押して H 欄の値を点灯させた後、下ボタンを押して V 欄にカーソルを移動し、垂直精度を設定し Enter を押します。  
さらに Enter を押します。  
Lemo/Modem 表示に切り替わります。
- 各ポートの通信設定をします。  
? ポート位置は、「機器接続について」を参照してください。(P11 参照)  
上下ボタンを押して設定する項目にカーソルを移動し、左右ボタンを押すとその項目が点滅します。上下ボタンで値を設定し Enter で決定します。  
必要に応じて各項目の設定をし、Enter を押します。  
Enter を押して次に進みます。  
Screen Pwr Savr 表示に切り替わります。
- パネルのスクリーンセイバー (省電力) について設定します。  
左右ボタンを押した後、上下キーで Auto か off を選択します。  
AUTO : 60 秒間使用されなかった場合パネル表示が HOME 表示に切り替わります。  
OFF : 常時パネル表示されます。  
Enter を押して次に進みます。  
Auto Warning 表示に切り替わります。

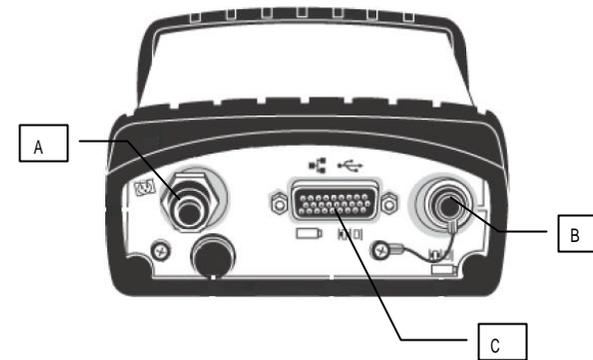
8. Autobase 警告機能の有無を設定します。  
左右ボタンを押した後、上下キーで ON か OFF を選択します。  
Autobase 警告とは：  
Autobase 警告を ON にすると、受信機の現在位置と一致する過去の基準局位置が見つからない場合に、受信機が新しい基準局を作成して RTK 基準局として作動し始めるのを防ぐ機能です。
9. Enter を 2 回押すと HOME 表示に戻ります。

### SV Status: 衛星情報を閲覧する

1. Home 表示の状態 で Enter キーを押して、Operation Mode 表示にします。  
2 行目に、Mode Setting が表示されます。
2. 右ボタンを押して表示を点滅させ、下ボタンを 2 回押して SV Status を表示し Enter を押します。さらに Enter を押します。
3. 1 衛星毎の情報を表示します。  
他の衛星情報を閲覧するには、右ボタンを押した後、上下ボタンを押す毎に他の衛星情報に切り替わります。
4. さらに Enter を押すと HOME 表示に戻ります。

### 3. 機器接続について

#### 本機背面の各ポートの名称と機能



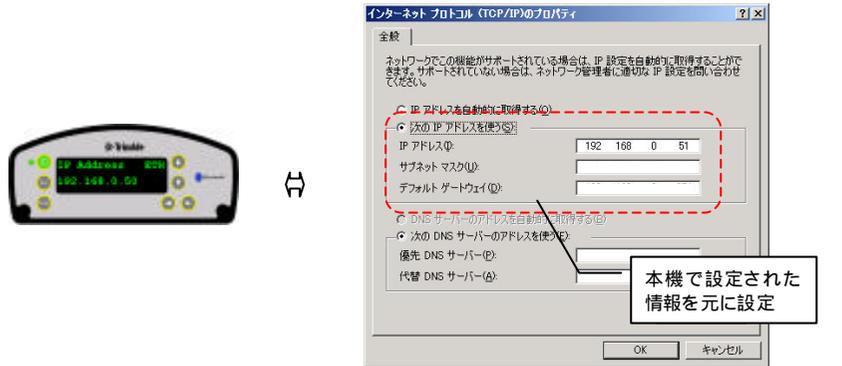
部位	名称	接続先
A	TNC	アンテナケーブル接続
B	Lemo	Lemo ケーブル接続
C	High Density DB26	マルチポートアダプタ(P/N58339)等を接続し、LAN ケーブル、シリアルポート「Modem」及び外部電源の供給

#### 4. ブラウザを利用した操作方法

本機を PC と接続して、ブラウザ上で本機の操作ができます。  
また、ブラウザを介して観測データをダウンロードするなどのファイル操作ができます。

##### 本機と PC を接続するには

1. 本機の下キーを押して、イーサネットの情報を確認し、必要に応じて PC 側のインターネットプロトコルの設定を本機の設定にあわせて。



2. ブラウザを表示し、本機の IP アドレスを入力して接続します。



正常に接続できない場合、ファイアウォールの設定等を確認してください。

3. 表示言語を切り替えます。画面左上に表示される国旗をクリックして言語を切り替えます。

##### ブラウザメニューの機能

###### 受信機ステータス

ID  
受信機の各 ID を表示します。



##### 受信機オプション

利用している受信機の機能一覧を表示します。



##### 操作

捕捉衛星と入力ポートの状態及び電源の状況を表示します。



##### 位置/ベクトル

現在位置と測位状況を表示します。



(「位置」表示)



(「ベクトル」表示)

衛星  
一般

衛星 - 一般情報	
受信機ステータス	捕捉されている衛星:12
衛星	GPS (8) 4, 8, 11, 17, 19, 20, 28, 32 GLONASS (4) 4, 9, 17, 18
一般	
捕捉(表)	
捕捉(グラフ)	
捕捉(スクリーンショット)	
GPS 使用・不使用	GPS衛星群の全衛星:31
GLN 使用・不使用	GPS - 健康な衛星:31
SBASの 使用・不使用	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
衛星群	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
予測時間	32
予測精度	
現在の衛星群	GLONASSシステムの衛星総数:24
衛星捕捉	GLONASS - 健康な衛星:16 4/6 6/1 7/5 9/2 10/4 11/0 13/2 14/4 15/0 17-1 18/3 19/3 20/2 23/3 24/2
データロギング	GLONASS - 健康状態が不良な衛星:9
受信機設定	1/24 2/24 3/24 5/24 8/24 12/24 15/24 21/1 22/3
Bluetooth	
ネットワーク設定	

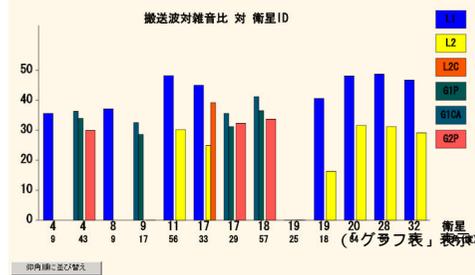
捕捉(表)(グラフ)(スクリーンショット)

捕捉状況を表・グラフ・スクリーンショット別に表示します。

衛星 - 捕捉情報	
受信機ステータス	
衛星	
一般	
捕捉(表)	
捕捉(グラフ)	
捕捉(スクリーンショット)	
GPS 使用・不使用	
GLN 使用・不使用	
SBASの 使用・不使用	
衛星群	
予測時間	
予測精度	
現在の衛星群	
衛星捕捉	
データロギング	
受信機設定	
Bluetooth	
ネットワーク設定	

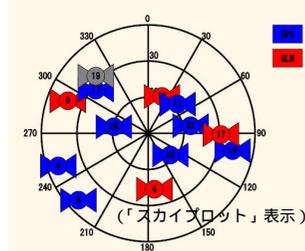
(「表」表示)

衛星 - 捕捉情報



(「グラフ表」表示)

衛星 - スクリーンショット



(「スクリーンショット」表示)

GPS (GLN) 使用・不使用

衛星の使用有無を設定します。

設定変更後、「OK」を押して有効にします。

GPS衛星 使用・不使用	
受信機ステータス	
衛星	
一般	
捕捉(表)	
捕捉(グラフ)	
捕捉(スクリーンショット)	
GPS 使用・不使用	
GLN 使用・不使用	
SBASの 使用・不使用	
衛星群	
予測時間	
予測精度	
現在の衛星群	
衛星捕捉	
データロギング	
受信機設定	
Bluetooth	
ネットワーク設定	

(「GPS 使用・不使用」表示)

SBAS の使用・不使用

SBAS 使用有無を設定します。

設定変更後、「OK」を押して有効にします。

SBAS衛星の使用・不使用	
受信機ステータス	
衛星	
一般	
捕捉(表)	
捕捉(グラフ)	
捕捉(スクリーンショット)	
GPS 使用・不使用	
GLN 使用・不使用	
SBASの 使用・不使用	
衛星群	
予測時間	
予測精度	
現在の衛星群	
衛星捕捉	
データロギング	
受信機設定	
Bluetooth	
ネットワーク設定	
ソフトウェア	
ヘルプ	

衛星歴

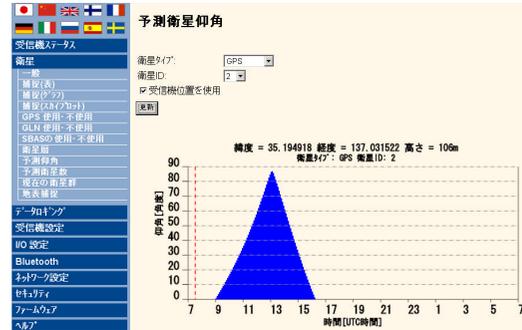
最新衛星歴データを受信機から入手します。

「Trimble Planning ソフトウェア形式の衛星暦をダウンロードする。」をクリックしてダウンロードします。データは受信機からダウンロードされ、Trimble 社製品「Planning」ソフトでインポートすることができます。

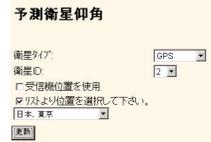
衛星歴	
受信機ステータス	
衛星	Trimble Planningソフトウェア形式の衛星暦をダウンロードする。

予想仰角

選択した衛星の仰角を閲覧します。  
設定変更後「更新」を押して有効にします。

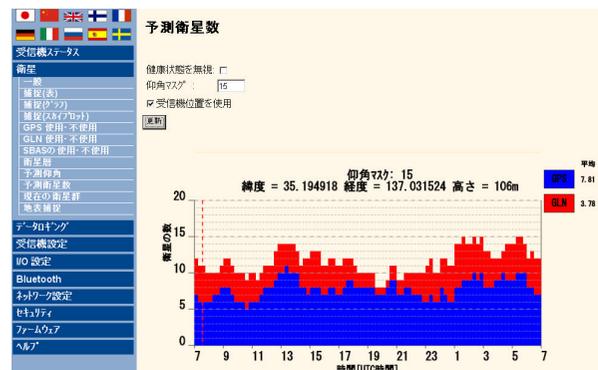


- ・衛星タイプ・・・「GPS」「GLONASS」から選択します。
- ・衛星 ID・・・確認する衛星 ID を選択します。
- ・受信機位置を使用・・・チェックを付けた場合、受信位置に対する予想衛星数を表示します。チェックを外した場合、あらかじめプリセットされた地域を選択することができます。(下図)



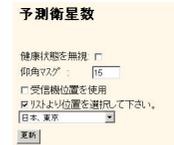
予想衛星数

仰角マスクを設定して時間軸の衛星補足予想を表示します。  
設定変更後「更新」を押して有効にします。



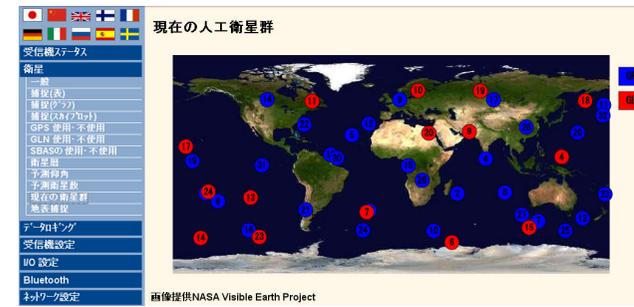
- ・健康状態を無視・・・衛星状態の考慮有無を設定します。
- ・仰角マスク・・・衛星の最低仰角を設定します。

- ・受信機位置を使用・・・チェックを付けた場合、受信位置に対する予想衛星数を表示します。チェックを外した場合、あらかじめプリセットされた地域を選択することができます。(下図)



現在の衛星群

受信中の衛星配置を表示します。



地表補足

指定した衛星位置を表示します。



## 受信機設定

## 概要

受信機の設定状況を表示します。

## マスク

衛星補足の各マスクを設定します。

設定後、「OK」で更新します。

## アンテナ

アンテナ情報を設定します。

設定後、「OK」で更新します。

- ・アンテナのタイプ・・・アンテナモデルを選択します。
- ・アンテナのシリアルナンバー・・・アンテナシリアル番号を設定します。
- ・アンテナ測定方法・・・アンテナ高の測定タイプを選択します。
- ・アンテナ高・・・計測値を入力します。

## 基準局

基準局情報を設定します。

設定後、「OK」で更新します。

- ・基準緯度/経度・・・基準局緯度経度を設定します。
- ・基準局高・・・基準局構内標高を設定します。
- ・CMR ID・・・CMRのIDを設定します。
- ・RTCM2x/3x ID・・・RTCMのIDを設定します。
- ・ステーション名・・・基準局名称を設定します。
- ・ステーションコード・・・必要に応じて設定します。

## 高度な設定

衛星補足と補正データに関する詳細な設定ができます。

## アプリケーションファイル

設定条件ファイルの編集・保存をします。

設定後、「OK」で更新します。



## インターネット設定

## 概要

ネットワークの設定概要を表示します。

## イーサネット設定

各アドレス等を設定します。

設定後、「OK」で更新します。

- ・IP セットアップ・・・DHCP の有無を選択します。
- ・IP アドレス・・・本機のIPアドレスを設定します。(「静止IP」の時のみ)
- ・ネットマスク/放送ゲートウェイ・・・各アドレスを設定します。(「静止IP」の時のみ)
- ・DNS アドレス/ドメイン・・・DNS を使用する場合の設定します。(「静止IP」の時のみ)
- ・ホスト名・・・本機の名称を設定します。
- ・MTU・・・送信可能なパケット最大サイズを設定します。

## PPP

ネットワーク接続に関する設定をします。

設定後、「OK」で更新します。

## ルーティングテーブル

パケット送信に関するルーティングテーブルの設定をします。

設定後、「OK」で更新します。

## E-Mail 警告

警告に関する情報のメール設定をします。

## HTTP / FTP

HTTP および FTP のポート設定をします。

設定後、「OK」で更新します。

## NTP クライアント

外部時刻サーバの設定をします。

設定後、「OK」で更新します。

VFD 用メニュー項目

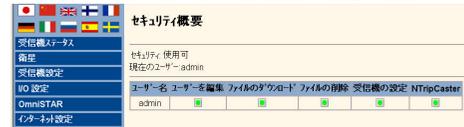
「TrimbleRemoteReceiver」と接続する場合の設定をします。  
VFD サーバーを「使用する」に設定しないと「TrimbleRemoteReceiver」を利用できません。



セキュリティ

概要

インターネットセキュリティに関する状態を表示します。



設定

セキュリティに関する設定をします。  
設定後、「OK」で更新します。



パスワード変更

パスワードを変更できます。  
設定後、「更新」で更新します。



ファームウェア

インストール

現在の FW バージョンを表示する他、ダウンロードしたファイルをインストールします。



FW アップグレードチェック

インターネットを介して最新の FW バージョンを確認できます。



付 録

SPS シリーズオプション一覧 (SPSx50Modular GPS 受信機ユーザーガイドより抜粋)

変更可能な設定オプション 可変的

下の表は各 SPSx50 Modular GPS 受信機シリーズ各機種のデフォルトオプションを表示しています。

可能な設定オプション	SPS550	SPS550H	SPS750 Basic 基準局	SPS750 Basic 移動局	SPS750 Max	SPS850 Extreme
CMR 入力 (移動局)	✓ <sup>1</sup>	✓ <sup>2</sup>	×	✓	✓	✓
CMR 出力 (基準局)	✓ <sup>3</sup>	×	✓	×	✓	✓
RTCM 入力 (移動局)	✓	×	×	✓	✓	✓
RTCM 出力 (DGPS 基準局)	×	×	✓	×	✓	✓
ムービングベース (位置 / 進行方位)	✓	✓	×	×	✓	✓
10 Hz 測量	✓	✓	×	×	✓	✓
20 Hz 測量	×	×	×	×	×	✓
データロギング (後処理済)	×	×	オプション	オプション	オプション	オプション
VRS 機能	✓ ロケー ション GPS	×	✓	×	✓	✓
インターネット / IP 有効	✓	✓	✓	✓	✓	✓
RTK 範囲制限	なし	2.4 km (1.5 miles)	なし	2.4 km (1.5 miles)	なし	なし

<sup>1</sup> フロート測位のみ

<sup>2</sup> ムービングベース (Moving base) CMR のみ

<sup>3</sup> ムービングベース (Moving base) CMR 出力のみ